

医学一般 S § 医学一般 SG

15088

担当者名 / Instructor 八田 文裕子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Description

本講義は社会福祉士を目指すものの必修講義として、医学・医療の基礎知識の習得を目的とする。

到達目標 / Focus and Goal

社会福祉士の試験に合格する
医療に従事するものとしての基礎知識を習得する

履修しておくことが望まれる科目 / Courses which students are recommended to enroll in, but not required to**授業スケジュール / Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
2006/09/29	臨床医学の概観、人体の構造と機能	医学の歩み、解剖と生理
10/06	人体の構造と機能	解剖と生理
10/13	先天性疾患	概念、遺伝子と遺伝、発生、先天性疾患
10/20	感染症	従来の感染症の動向、感染症新法、一類感染症
10/27	感染症	二類から五類感染症
11/03	感染症	五類感染症(HIV、性感染症など)
11/10	感染症	近年注目される感染症(結核、麻疹、風疹など)
11/17	生活習慣病	概念、悪性新生物、循環器疾患、脳血管障害、糖尿病、高脂血症
11/24	生活習慣病	概念、悪性新生物、循環器疾患、脳血管障害、糖尿病、高脂血症
12/01	老化と身体的変化	老化現象とは、高齢者の疾病の特徴と注意すべき点について
12/08	高齢者の病気	高齢者の病気の特徴、脳血管障害、認知症、骨粗しょう症、褥瘡 など
12/15	神経系疾患	パーキンソン氏病、神経痛、頸椎症、など
12/22	精神保健	精神障害の診断・分類・理解、精神医療について
2007/01/12	精神保健	精神障害の診断・分類・理解、精神医療について
01/19	公衆衛生	人口統計、医療供給システムなど

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Out of class assignment
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Course Style**

社会福祉士国家試験の問題集を自主学習すること

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験	100 %	記述問題及び × 式問題
定期試験として実施。 出欠の有無は問わない。定期試験の成績をもって評価する。		

受講生および研究に関するアドバイス / Advice regarding students and/or research**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
新版社会福祉士養成講座14「医学一般」	福祉士養成講座編集委員会 / 中央法規 / 4-8058-2303-8 /

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Internet Websites related to the Course**

厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>

その他 / Others

応用精神保健学 S § 精神保健学II S

15062

担当者名 / Instructor 石橋 典子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Description

精神保健学で学んだ内容をふまえて、精神保健活動の場としての地域、学校、職場の特性をふまえてそれぞれの場面における精神保健活動のあり方を学習する。

到達目標 / Focus and Goal

精神保健活動に関する諸理論をふまえて、具体的な精神保健活動のあり方を分析・討論・報告することができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Courses which students are recommended to enroll in, but not required to

精神保健学の履修を終えていることを前提とする。

授業スケジュール / Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	精神保健活動の場	精神保健活動の場、精神保健活動の関係者
第2回	地域における精神保健1	地域、精神保健福祉法、精神保健福祉センター、保健所、市町村保健センター、ネットワーク
第3回	地域における精神保健2	社会保障審議会、厚生労働省、障害者プラン、精神保健福祉法
第4回	REVIEW TEST	
第5回	精神保健における家族	家族、家族システム、家族療法、家族会
第6回	精神保健医療福祉政策の展開	精神病床数
第7回	世界の精神保健1 - 国際比較	未定
第8回	世界の精神保健2 - 国際比較	未定
第9回	REVIEW TEST	
第10回	職場における精神保健1	職場の精神保健、就業性ストレス
第11回	職場における精神保健2	労働衛生、労働災害
第12回	学校における精神保健1	学校精神保健、学校保健法
第13回	学校における精神保健2	不登校、登校拒否
第14回	総括	
第15回	最終講義日試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Out of class assignment
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Course Style

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点	40 %	レビューテスト
その他	60 %	最終講義日試験

受講生および研究に関するアドバイス / Advice regarding students and/or research

精神保健学の復習を適宜行うことが望ましい。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

精神保健福祉士養成セミナー編集会編「精神保健福祉士養成セミナー第2巻精神保健学」(東京;へるす出版)

参考になる WWW ページ / Internet Websites related to the Course

厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>

その他 / Others

介護概論 S § 介護概論 SG

15026

担当者名 / Instructor 沖野 良枝

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Description

本概論では、介護専門職として必要な介護に関する諸概念および専門知識と援助の方法について学習する。具体的には、今日の介護問題の背景と現状、介護保険制度を始めとする社会施策の学習を通して、主として高齢者と家族を中心にその立場や状況を明らかにし、専門職の果たす役割・責任を理解する。さらに、要介護者のニーズに沿ったサービスに必要な視点として健康、生活、自律の概念を学習し、対象の理解、生活援助の意味と認識を深める。問題解決技法としての介護過程、寝たきり、認知症、終末期の対象者・家族に対する根拠に基づいた援助の基本、対象者・家族の生命、身体、精神、生活上の安全と人権尊重の重要性を理解し、専門職者としての責務について自覚を深める。

到達目標 / Focus and Goal

1. 介護の概念や特徴、基本原則、介護の場や介護に係る専門職の種類と連携など介護の概要を理解する。
2. 今日の介護問題の背景と現状を理解することにより、介護対象者および家族の立場や状況に対する理解と認識ができる。
3. 人にとっての健康、生活、自律の意味、在り方を学ぶことにより、介護対象者・家族の生活援助の意義を認識できる。
4. 介護問題解決の方法論、援助技術の原理を根拠に基づき理解できる。
5. 寝たきり、認知症、終末期など特定領域別の対象者・家族の状況理解、援助の特徴と基本的な関わりの方法がわかる。
6. 対象者・家族の人権尊重の重要性および安全確保のための倫理的、法的根拠が理解できる。
7. 専門職としての理念、態度、在り方について理解でき、その責務を自覚する。

履修しておくことが望まれる科目 / Courses which students are recommended to enrolle in, but not required to

本講義では、専門知識や関連情報、援助技術の学習に留まることなく、人に関する幅広い視点、多様で相対的思考でマクロに学習する立場で受講される事を希望する。また、社会福祉概論、社会福祉援助技術、ソーシャルワーク、高齢者、障害者福祉、家族社会学、医学一般など専門基礎科目の多くを履修している2年次以降の受講が望ましい。

授業スケジュール / Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	1. 介護の理解 1)介護の概念と歴史	介護の概念、介護の原則、介護の歴史
第2回目	2)今日の介護問題とその背景	高齢社会、介護問題、介護問題の背景
第3回目	2. 介護対象者の理解 1)人・対象者にとっての生活	人の生活、家族、地域、要介護者の生活、クオリティ・オブ・ライフ
第4回目	2)人・対象者にとっての健康	健康の概念、健康観の変遷、健康の意味
第5回目	3)人・対象者にとっての自律/自立	自律、自立、自立支援
第6回目	3. 介護のしくみ 1)介護の場(在宅、施設)	介護のしくみ、介護の場、施設、在宅
第7回目	2)介護を担う人と役割 3)保健・医療・福祉の連携	介護者、介護者の役割、保健・医療・福祉、専門職、連携
第8回目	3)介護保険制度の概要	介護の制度、介護保険法、要介護認定、要介護者、要支援者、在宅サービス、施設サービス、介護予防
第9回目	4. 介護のスキル・マネジメントの方法 1)介護(問題解決)過程 2)ケアマネジメント	介護のスキル、介護過程、問題解決技法、ケアマネジメント、展開方法
第10回目	2)ADL(日常生活)援助	ADL, IADL, ADLの目的、ADLの内容、援助の原則
第11回目	3)主な領域と介護 寝たきり高齢者と介護	寝たきり高齢者、寝たきりの予防、介護の方法
第12回目	認知症高齢者と介護	認知症、アルツハイマー病、脳血管性認知症、介護の関わり
第13回目	終末期と死の捉え方	終末期と死、死の捉え方、尊厳死、遷延生意識障害、安楽死
第14回目	5. 介護における倫理 1)対象者・家族の人権の保護 2)安全管理 3)介護専門職の責務	介護倫理、プライバシーの保護、守秘義務、インフォームド・コンセント、意思決定、安全の重要性、事故予防、感染予防、専門職の責務

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Out of class assignment

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Course Style

講義のレジュメ、資料および紹介した著書、文献などによる予習・復習などの自己学習。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験	90 %	筆記試験により介護問題の背景、関連する専門知識、対象の理解、援助の方法論などの基本

的理解、知識の修得状況を評価・判定する。

レポート	10 %	定期試験の合否判定に際し、考慮する。
その他	0 %	6割(8回)以上の授業の出席を、定期試験の受験要件とする。

受講生および研究に関するアドバイス / Advice regarding students and/or research

提示した授業計画に沿って授業は進める予定である。教科書やレジュメによる事前学習および授業後の復習が、授業理解を円滑にする前提と考える。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
新版社会福祉士養成講座14 介護概論	社会福祉士養成講座編集委員会 / 中央法規出版株式会社 / 4-8058-2044-6 /

授業は、教員の準備するレジュメ、資料に基づき進める。教科書は、事前学習、国家試験受験対策として活用すること。

参考書 / Reference Books

関連授業時に適宜、紹介する。

参考になる WWW ページ / Internet Websites related to the Course

その他 / Others

担当者名 / Instructor 小川 栄二

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Description

本講義では、近年注目されているコミュニティ・ケアについて、歴史、方法、政策と課題の各方面から概要を解説する。広くは地域福祉論の一環でもあるが、对人的「ケア」と地域での展開に焦点を置いて、ケアマネジメント、資源とネットワーキング、地域に密着した課題を考察する。近年導入されたケアマネジメント、本年から実施される、改正介護保険法、障害者自立支援法も視野に入れる。

到達目標 / Focus and Goal

ケアを必要とする人々が地域で暮らす上で持つ生活の困難性を理解する。コミュニティケアを社会福祉の対人援助、地域展開、政策の各面から理解する。

履修しておくことが望まれる科目 / Courses which students are recommended to enroll in, but not required to

介護概論 地域福祉論

授業スケジュール / Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	・「ケア」と「コミュニティ」の考え方	
2	・コミュニティケア政策の歴史 欧米	
3	・コミュニティケア政策の歴史 日本	
4	・「ケア」を必要とする高齢者・障害者・住民の状態(1)	
5	・「ケア」を必要とする高齢者・障害者・住民の状態(2)	
6	・障害者自立支援法の現状	
7	・ケアマネジメントの考え方と実際(1)	
8	・ケアマネジメントの考え方と実際(1)	
9	・地域の共同と資源・ネットワーク	
10	・日本におけるコミュニティ政策とコミュニティケア (1)1970年代～	
11	・日本におけるコミュニティ政策とコミュニティケア (2)2000年～	
12	・コミュニティケアの実際:地域支援事業関連	
13	・コミュニティケアの実際:ケアマネジャー	
14	・コミュニティケアの実際:地域の自主的活動	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Out of class assignment**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Course Style****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験	80 %	社会福祉の方法と政策の両面から理解を問う。
日常点	20 %	時間内の小提出物により問題関心の涵養をみる。

受講生および研究に関するアドバイス / Advice regarding students and/or research.

コミュニティケアと今日政策的焦点である小地域密着型の高齢者施策展開、障害者の地域支援活動に関心を払い、日常的に現実を把握するよう努めてください。

教科書 / Textbooks

テキストは指定しません。

参考書 / Reference Books

参考書は授業中に随時紹介します。

参考になる WWW ページ / Internet Websites related to the Course**その他 / Others**

社会福祉援助技術論Ⅰ § 社会福祉援助技術論Ⅱ § 社会福祉援助技術論Ⅲ § SG

11568

担当者名 / Instructor 小川 栄二

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Description

社会福祉活動(ソーシャルワーク)の総括原理を以下の内容で講義する。社会福祉活動(ソーシャルワーク)の対象である対人援助課題、社会福祉課題、生活問題の現実と出現経路を学び、公的社会福祉制度と社会福祉活動(ソーシャルワーク)との必要性を学ぶ。社会福祉活動(ソーシャルワーク)の概要・体系と社会福祉制度と社会福祉活動(ソーシャルワーク)の関係を学ぶ。社会福祉活動(ソーシャルワーク)展開、関連する方法・技法の基本的な知識と社会福祉援助活動の共通課題を学ぶ。社会福祉活動の場・従事者の実情を学。社会福祉活動の構造を国民生活の状況、改善を求めるイニシアティブ、国家による制度の関係を学ぶ。社会福祉従事者の現状と倫理を学ぶ。

到達目標 / Focus and Goal

社会福祉活動の対象となる国民生活問題を理解する。社会福祉活動の原理と構造を理解する。社会福祉活動の基礎的知識と理論を理解する。

履修しておくことが望まれる科目 / Courses which students are recommended to enrolle in, but not required to

授業スケジュール / Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	社会福祉援助活動を理解するための事例	対人援助課題
2	社会福祉援助活動を理解するための事例	生活問題
3	社会福祉活動を必要とする問題状況とその対応	社会福祉活動諸次元
4	社会福祉活動と制度	
5	社会福祉活動の場と機関・人材	
6	社会福祉活動のレポーター(1)	
7	社会福祉活動のレポーター(2)	
8	社会福祉活動の歴史(1)	
9	社会福祉活動の歴史(2)	
10	社会福祉活動の理論(1)	
11	社会福祉活動の理論(2)	
12	生活問題と社会福祉活動	現代社会における社会福祉活動の課題
13	生活問題と社会福祉活動の構造	
14	社会福祉の「援助」と「技術」	
15	生活問題と社会福祉活動	現代社会における社会福祉活動の課題
16		
17		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Out of class assignment

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Course Style

日常生活で出会う社会福祉活動が必要な状態に関心をはらい、具体的に把握すること。
日常生活、メディア、文献を通じて、国民生活の困難性を具体的に理解すべく関心を向けること。
社会でどのような社会福祉活動が行なわれているか、アクティブに理解すること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験	80 %	社会福祉課題の基本的性格と社会的対応としての社会福祉活動についての理解がなされているかを問う。
日常点	20 %	随時の提出物により、社会福祉課題についての問題関心の涵養を問う。

受講生および研究に関するアドバイス / Advice regarding students and/or research

現実の社会福祉課題を知り、いかに対応すべきなのか、個人・家族、地域・自治体、国家の各レベルで主体的に考察してください。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
社会福祉方法原論	植田章・岡村正幸・結城俊哉 / 法律文化社 / 589 - 02010 - 6 /

参考書 / Reference Books

書名 / Title

社会福祉援助技術論

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

福祉士養成講座編集委員会 / 中央法規 / 8058 - 2038 - 1 /

参考になる WWW ページ / Internet Websites related to the Course

その他 / Others

担当者名 / Instructor 石倉 康次

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Description

社会福祉サービスは、今日では私たちが地域で生活していく中で必要不可欠な社会サービスとなっている。しかし、必ずしもそのことが市民の常識とはなっていない。講義では、社会の変化の中で社会福祉サービスがしめる位置とその意義を具体的な事例を通して確認する作業を行う。

到達目標 / Focus and Goal

社会の中での社会福祉サービスの位置とその役割について理解する。社会福祉サービス形成と変動の構造について理解する。

履修しておくことが望まれる科目 / Courses which students are recommended to enrolle in, but not required to

特になし

授業スケジュール / Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	導入	
2	人間社会共同的性格と福祉的営み	ボノボ
3	家族の歴史の変容とその背景を考える	複合家族、直系家族、核家族
4	義務教育教科書でとりあげられた社会福祉	国民の常識
5	くらしと社会福祉・社会保障:こんなときどうする?	社会福祉諸制度
6	公的福祉とサービス産業、家事労働	公的福祉、サービス産業、相互扶助、家事労働
7	地域社会の共同社会関係と消費者被害	消費者被害、地域社会
8	社会的先入観・スティグマと福祉援助	スティグマ
9	自己決定・当事者主体の尊重ということ	自己決定
10	家族の通常の関係修復と福祉サービス	家族関係
11	社会福祉援助の場面における自己と他者	Iとme
12	逸脱と自助活動	逸脱的アイデンティティー
13	生涯発達と社会サービス	発達の季節
14	戦後日本における社会福祉事業・施設の展開	社会福祉事業経営
15	試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Out of class assignment

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Course Style

テレビの福祉番組に注意

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験	80 %	
レポート	20 %	

講義ではビデオを多く観るが、これが講義の理解を助けるし、得るところも多いはず。遅刻するとビデオのストーリーが見えなくなる。

受講生および研究に関するアドバイス / Advice regarding students and/or research

講義に出席し毎回提出する小レポートに取り組むことが大切。

教科書 / Textbooks

テキストは使わない。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『福祉のひろば』	総合社会福祉研究所 / 総合かもがわ出版 / /
『形成期の痴呆老人ケア』	石倉康次他 / 北大路書房 / /
『転換期の社会福祉事業と経営』	石倉康次他 / かもがわ出版 / /
『社会福祉辞典』	辞典編集委員会 / 大月書店 / /
『社会保障社会福祉事典』	事典刊行委員会 / 旬報社 / /

これ以外にも講義内で紹介する。ホームページに頼らず本をひもとくことで広がる世界があることを知ってほしい。

参考になる WWW ページ / Internet Websites related to the Course

厚生労働省 : <http://www.mhlw.go.jp/index.html> 呆け老人をかかえる家族の会 : <http://www2f.biglobe.ne.jp/~boke/boke2.htm> 日本障害者センター : <http://shogaisha.jp/> 総合社会福祉研究所 : <http://www.jfast1.net/~sosyaken/> 保育研究所 : <http://www.hoiku-zenhoren.org/kenkai/index.html> 全国老人福祉問題研究会 : <http://members3.jcom.home.ne.jp/0376228901/romonken/> 全国障害者問題研究会 : <http://www.nginet.or.jp/> 全国児童養護問題研究会 : <http://www.ne.jp/asahi/yomon/ken/>

その他 / Others

社会福祉法制 S

13057

担当者名 / Instructor 山田 耕造

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Description

わが国の主要な社会福祉関係法の概要について解説する。

到達目標 / Focus and Goal

わが国社会福祉法制の全体像及び各社会福祉関係法の概要を把握する。

履修しておくことが望まれる科目 / Courses which students are recommended to enrolle in, but not required to

授業スケジュール / Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	社会福祉法廷とは 1	
第2回	社会福祉法廷とは 2	
第3回	社会福祉法 1	
第4回	社会福祉法 2	
第5回	児童福祉法	
第6回	母子及び寡婦福祉法	
第7回	障害者自立支援法 1	
第8回	障害者自立支援法 2	
第9回	身体障害者福祉法	
第10回	知的障害者福祉法	
第11回	精神保健及び精神障害者の福祉に関する法律	
第12回	老人福祉法	
第13回	老人保健法	
第14回	介護保険法	
第15回	定期試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Out of class assignment
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Course Style

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験	100 %	試験の成績に基づく

受講生および研究に関するアドバイス / Advice regarding students and/or research

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『社会福祉六法 2006』	ミネルヴァ書房編集部 / ミネルヴァ書房 / 4-623-04566-8 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Internet Websites related to the Course

その他 / Others

精神医学 S § 精神医学I S

13008

担当者名 / Instructor 石坂 好樹

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Description

福祉領域に関わるものにとっては、精神医学的知識は欠かせない。この講義においては、精神医学の歴史、精神医学の背後にある生物学的知識および心理学的知識を理解し、また、具体的な精神医学臨床で出現するの症状論の記述法を学習する。

到達目標 / Focus and Goal

精神医学の歴史の理解
精神保健福祉士に必要とされる程度の脳の解剖学的、薬理的知識の習得
精神症状を理解

履修しておくことが望まれる科目 / Courses which students are recommended to enroll in, but not required to

受講生は精神障害リハビリテーション論S、リハビリテーション論 S、精神リハビリテーション学Sを受講することが望ましい。

授業スケジュール / Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
4月10日	精神医学の歴史	
4月17日	精神医学の歴史	
4月24日	脳の解剖学	
5月1日	脳の解剖学	
5月15日	脳の生理学	
5月22日	精神障害症状論	
5月29日	精神障害症状論	
6月5日	精神障害症状論	
6月12日	精神障害症状論	
6月19日	精神障害症状論	
6月26日	精神障害症状論	
7月3日	精神障害症状論	
7月10日	精神障害症状論	
7月24日	精神障害症状論	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Out of class assignment
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Course Style

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験	100 %	定期試験の成績により判定する

受講生および研究に関するアドバイス / Advice regarding students and/or research

精神保健福祉士資格の国家試験受験を希望する学生は必ず受講してください。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
精神医学	小谷憲司、谷野亮編集 / へるす出版 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Internet Websites related to the Course

その他 / Others

精神科リハビリテーション学 S § 精神リハビリテーション学II S

15118

担当者名 / Instructor 石坂 好樹

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Description

前期の精神リハビリテーション学Sにひきつづいて、精神障害者の回復過程のめに関わる具体的な疾患のリハビリテーションの方法およびそれらが展開されるさまざまな場所について、詳述する。

到達目標 / Focus and Goal

精神リハビリテーションの対象や精神リハビリテーションに関連する諸施設についての理解、リハビリテーションで用いられるいろいろな技法の理解を深める

履修しておくことが望まれる科目 / Courses which students are recommended to enroll in, but not required to

前期の精神障害リハビリテーション論Sおよび前期の精神医学Sを受講していることが望ましい。

授業スケジュール / Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
9月25日	精神リハビリテーションの基本プロセス	
10月2日	精神リハビリテーションの基本プロセス	
10月9日	疾病経過論	
10月16日	疾病経過論	
10月23日	精神リハビリテーションの技法	
11月6日	精神リハビリテーションの技法	
11月13日	精神リハビリテーションの技法	
11月20日	精神リハビリテーションの技法	
11月27日	精神リハビリテーションの技法	
12月4日	精神リハビリテーションの技法	
12月11日	精神リハビリテーションの技法	
12月18日	精神リハビリテーションにおける連携	
1月16日	精神リハビリテーションの技法	
1月22日	地域リハビリテーション	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Out of class assignment
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Course Style

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験	100 %	定期試験

受講生および研究に関するアドバイス / Advice regarding students and/or research

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
精神科	精神保健福祉士養成セミナー / へるぷ出版 / 4-89269-523-8 /

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
精神障害リハビリテーション学	蜂谷英彦、岡上和男監修 / 金剛出版 / 4-7724-0663-8 /

参考になる WWW ページ / Internet Websites related to the Course

その他 / Others

精神障害者の人権とくらし S § 精神保健福祉論II S

13096

担当者名 / Instructor 山本 耕平

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Description

この講義では、精神病患者および精神障害者の人権を擁護する働き手となって行く際に必要な理論をとりあげる。なかでも、精神病発症時の医療への導入、入院時の人権保障さらに「生き、働き、集う」生活と地域の創造、本人と家族の関わりをどう考えるかにつき講義を進める。

到達目標 / Focus and Goal

精神病患者および精神障害者の人権を擁護する理論と実践につき理解し議論できる

履修しておくことが望まれる科目 / Courses which students are recommended to enrolle in, but not required to

授業スケジュール / Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
4月14日	総括的導入講義を実施します。詳細は別途掲示等で案内します。	
4月21日	権利擁護の担い手としてのPSW PSWの倫理と実践	
4月28日	権利擁護の担い手としてのPSW PSW実践の目的	
5月12日	権利擁護の担い手としてのPSW PSW実践の価値	
5月19日	受療への導入およびアクセスについて 法23条の問題性について	
5月26日	受療への導入およびアクセスについて 法34条移送と医療導入支援	
6月2日	受療への導入およびアクセスについて 危機理論と危機介入	カプラン ドナ・C・アギュラ
6月9日	入院と人権、入院加療中のいくつかの事件と人権	宇都宮病院事件と国際評価
6月16日	入院と人権、入院加療中のいくつかの事件と人権	大和川病院事件 以降の事件
6月23日	国連原則と第三次調査団報告	
6月24日	国連原則と第三次調査団報告	
6月30日	権利擁護とセルフアドボカシー	
7月7日	当事者運動の現状と課題 - スティグマと当事者 -	当事者生活ニーズ 支援抑制
7月14日	家族当事者の権利と運動	全家連 家族ニーズ 保護者規定

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Out of class assignment

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Course Style

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験	90 %	
日常点	10 %	

受講生および研究に関するアドバイス / Advice regarding students and/or research

欠席等で入手できなかった配布資料は自己責任で入手すること。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
精神保健福祉論 精神保健福祉士養成セミナー 改訂3版第4巻	精神保健福祉士養成セミナー編集委員会 / へるす出版 / ISBN4-89269-524-6 /

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
精神障害者の人権	国際法律家委員会編集 / 明石出版 / ISBN4 - 7503 - 9845 - 5 /

参考になる WWW ページ / Internet Websites related to the Course

その他 / Others

精神障害リハビリテーション論Ⅰ § リハビリテーション論Ⅱ § 精神リハビリテーション学Ⅰ §

13006

担当者名 / Instructor 石坂 好樹

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Description

精神障害の基礎を学び、それぞれの精神障害の発症後のリハビリテーションの基本となる理念や方法を学習する。特に、統合失調症のリハビリテーションの歴史や具体的な方法について学習する。

前期には、リハビリテーションの歴史的展開や基本的な精神障害に関する知識を習得する。

到達目標 / Focus and Goal

福祉領域にかかわりのあるものにとって、精神障害者の地域におけるリハビリテーションの必要性の理解と、その具体的な展開を知ることは極めて重要なことである。この講義ではまず、精神障害リハビリテーション歴史や精神障害リハビリテーションの理念を理解し、基礎的な精神障害の知識習得する

履修しておくことが望まれる科目 / Courses which students are recommended to enroll in, but not required to

精神医学Ⅰ、精神医学Ⅱをあわせて受講することが望ましい。

授業スケジュール / Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
4月10日	精神科リハビリテーションの歴史	
4月17日	精神科リハビリテーションの理念	
4月24日	わが国における精神医療の状況	
5月1日	精神医学症状論	
5月15日	精神医学症状論	
5月22日	精神障害概説	
5月29日	精神障害概説	
6月5日	精神障害概説	
6月12日	精神障害概説	
6月19日	精神障害概説	
6月26日	精神障害概説	
7月3日	精神障害概説	
7月10日	精神障害概説	
7月24日	精神障害概説	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Out of class assignment

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Course Style

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験	100 %	定期試験の成績により、判定を行う

受講生および研究に関するアドバイス / Advice regarding students and/or research

精神保健福祉士の資格を取得するものは、この講義を受講することが必要である。日ごろ慣れていない用語が多く出現するので、授業では積極的に質問してください。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
精神科リハビリテーション	精神保健福祉士養成セミナー / へるす出版 / 4-89269-523-8 /

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
精神障害リハビリテーション学	蜂谷英彦、岡上和男監修 / 金剛出版 / 4-7724-0663-8 /

参考になる WWW ページ / Internet Websites related to the Course

その他 / Others

担当者名 / Instructor 土田 英人

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Description

精神保健の概念と現実の課題について学習する。

精神障害者、老人性痴呆(認知)症、アルコール関連問題、薬物乱用など、主要な精神保健所上の課題について学習する。

到達目標 / Focus and Goal

精神保健福祉とは何か、またその現実の課題について、討論・報告することができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Courses which students are recommended to enroll in, but not required to

この精神疾患について詳細な講義はできないため、「精神医学」について、事前に習得あるいは講義にあわせて学習することが望まれる。

授業スケジュール / Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	精神保健総論1 精神保健とは	精神保健、公衆衛生、心の健康、事例性
第2回	精神保健総論2 精神障害の原因論・リスク要因とその予防	病因論、生物・心理・社会モデル
第3回	精神保健総論3 精神疾患の疫学、精神疾患の分類	疾患分類、罹患率・有病率
第4回	REVIEW TEST	
第5回	乳幼児期、学童期における精神保健	ライフステージ、乳幼児、アタッチメント
第6回	思春期・青年期における精神保健	思春期、青年期、自己同一性、ひきこもり
第7回	成人期における精神保健	うつ、自殺、バーンアウト、中年期の課題
第8回	老年期における精神保健	加齢、痴呆(認知症)
第9回	REVIEW TEST	
第10回	精神保健政策の展開	地域ケア、精神保健福祉法
第11回	うつ病と自殺	自殺の予防戦略、自殺のサイン
第12回	アルコール関連問題と薬物乱用対策	依存症、アルコール依存、薬物依存
第13回	痴呆疾患対策	痴呆(認知症)、緩和ケア
第14回	総括	
第15回	最終講義日試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Out of class assignment**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Course Style****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点	40 %	レビューテスト
その他	60 %	最終講義日試験

受講生および研究に関するアドバイス / Advice regarding students and/or research

精神疾患各論については、事前に予習しておくことが望ましい。

教科書 / Textbooks

精神保健入門(東京: 八千代出版、鹿島晴雄編著、2000)

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Internet Websites related to the Course**厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>**その他 / Others**

精神保健福祉の現状と課題 S § 精神保健福祉論III S

15185

担当者名 / Instructor 山本 耕平

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Description

精神保健福祉の分野で、精神病患者および精神障害者や精神保健福祉上の切実な要求を持つ人の人権を保障する働き手となる際に必要な障害者観や実践観を学ぶ。

到達目標 / Focus and Goal

精神保健福祉上の切実な要求を持つ人の人権を保障する障害者観や実践観を理解できる

履修しておくことが望まれる科目 / Courses which students are recommended to enroll in, but not required to

授業スケジュール / Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
9月29日	総括的導入講義を実施します。詳細は別途掲示等で案内します。	
10月6日	PSWが見つめる生活	当事者 家族 地域住民
10月13日	パートナーとしてのPSW 実践の価値	パートナーリズム パートナー フレンドシップライン
10月20日	地域ケアとPSW 増え続ける共同作業所	
10月27日	障害者自立支援法と精神障害者	
11月3日	精神障害者と暮らしの場	
11月10日	精神障害者と暮らしの場	
11月17日	精神障害者と就労支援の課題	就労支援 ジョブコーチ 適応
11月27日	精神障害者と就労支援の課題	就労 自立 参加
12月1日	青年期の課題を持つ当事者達と支援	ひきこもり 摂食障害 リストカット
12月8日	災害・事故の被害と支援	トラウマ PTSD 災害支援
12月22日	精神科医療と触法精神障害者	
1月12日	他の精神保健福祉ニーズを持つ人の生活	薬害HIV ひきこもり
1月19日	当事者からの発言	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Out of class assignment
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Course Style

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験	50 %	
日常点	50 %	

受講生および研究に関するアドバイス / Advice regarding students and/or research

講義中の議論を大切にします。出席をとります。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Internet Websites related to the Course

その他 / Others

精神保健福祉論Ⅰ § 精神保健福祉論Ⅰ

13026

担当者名 / Instructor 山本 耕平

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Description

この講義では、精神保健福祉を理解する上で必要な精神保健福祉問題につき理解することに主な目標とする。精神障害(者)の生活の歴史と精神衛生から精神保健さらに精神保健福祉への政策・実践思想を学習するなかで、精神障害者の全面的な社会参加の為に医療・保健・福祉政策や実践がどう構築されていくべきかを学んで欲しい。

到達目標 / Focus and Goal

精神保健福祉を理解する上で必要な精神保健福祉問題につき理解することができる

履修しておくことが望まれる科目 / Courses which students are recommended to enroll in, but not required to

授業スケジュール / Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
4月14日	総括的導入講義を実施します。詳細は別途掲示等で案内します。	
4月14日	障害者福祉の基本的理念の展開と精神障害者および精神障害者 1	隔離 私宅監置
4月21日	障害者福祉の基本的理念の展開と精神障害者および精神障害者 2	障害者 病者 疾病と障害の共存
4月28日	戦後の精神障害者の生活実態と医療・福祉の歴史 医療	パターンリズム 人権
5月12日	戦後の精神障害者の生活実態と医療・福祉の歴史 福祉・地域実践	リハビリテーション
5月19日	戦後の精神障害者の生活実態と医療・福祉の歴史 保健	予防
5月26日	精神障害者と地域社会 とりわけ偏見、スティグマ、差別との関わりで	コンフリクト 麦の郷
6月2日	精神障害者福祉の基本施策 精神保健医療福祉の改革ビジョンを中心に	脱施設化
6月9日	精神障害者福祉の基本施策 精神保健医療福祉の改革ビジョンを中心に	地域支援体系
6月16日	精神障害者福祉の基本施策 精神保健医療福祉の改革ビジョンを中心に	地域医療体制
6月23日	精神障害者福祉の基本施策 グランドデザインと地域生活	グランドデザインとその問題
6月24日	精神保健福祉法の概要	
6月30日	精神保健福祉法の概要	
7月7日	精神保健福祉法の概要	
7月14日	精神保健福祉法の概要	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Out of class assignment

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Course Style

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験	90 %	
日常点	10 %	

受講生および研究に関するアドバイス / Advice regarding students and/or research

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
精神保健福祉論 精神保健福祉士養成セミナー 改訂3版第4巻	精神保健福祉士養成セミナー編集委員会 / へるす出版 / ISBN4-89269-524-6 /

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
講座発達保障 障害者福祉学	秦安雄・鈴木勉・峰島厚編 / 全障研出版部 / /

精神障害者の地域生活支援－統合的モデルと 田中英樹著 / 中央法規 //
コミュニティソーシャルワーク

参考になる WWW ページ / Internet Websites related to the Course

その他 / Others

ソーシャルワーク論Ⅰ § 社会福祉援助技術論Ⅱ § 社会福祉援助技術論Ⅱ §

11393

担当者名 / Instructor 岡田 まり

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Description

本講義では、社会福祉実践(ソーシャルワーク)の基礎を習得することを目的とする。講義内容は、ソーシャルワークの基本的な考え方(価値・倫理)や視点(モデル)、実践に必要な専門知識(理論)、専門技術についてである。ソーシャルワークは、個人、家族、小集団、地域、計画、調査、組織、運営管理とさまざまなレベルで展開されている。本講義では、ソーシャルワークの全体像を視野に入れつつ、個人、家族、グループへの支援に焦点をあてて学習する。

到達目標 / Focus and Goal

- ・ソーシャルワークの専門性とは何か説明できる。
- ・ソーシャルワーカーの役割と社会的な位置づけについて述べるができる。
- ・ソーシャルワーク実践のプロセスと方法について述べるができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Courses which students are recommended to enrolle in, but not required to

社会福祉士課程の指定科目をできるだけ履修しておくことが、本科目での理解を深めるのに役立つ。

授業スケジュール / Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	ソーシャルワークとは何か	定義、目的、目標、プロセス、価値と倫理
第2回	ソーシャルワークの分野	子ども&家庭、高齢、障害、保健医療、精神保健、地域、学校、職場、異文化適応
第3回	ソーシャルワークの視点	エコロジカル・システム・モデル
第4回	ソーシャルワークにおけるアセスメント	アセスメントの目的、定義、方法
第5回	コミュニケーション	面接、傾聴、共感、信頼関係
第6回	家族機能のアセスメント	家族の特性、機能、家族システム、構造
第7回	グループ機能のアセスメント	グループのステージ、グループ総体、グループメンバー
第8回	ソーシャルワークの介入	課題達成、認知再構成、問題解決能力の向上、環境改善と社会資源の活用、エンパワメント
第9回	家族関係への介入	コミュニケーションの促進、家族関係の変化、認知再構成、役割の変化
第10回	グループ介入	グループの発達段階に応じた介入
第11回	組織への介入	ワーカーが働く組織と地域への介入
第12回	介入の評価	評価の意義、アカウンタビリティ、評価方法
第13回	スーパービジョン	スーパービジョンの機能と方法
第14回	まとめ	
第15回	予備日	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Out of class assignment

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Course Style

授業前にテキストの指摘箇所および配布資料について必ず読んでくること。授業は、受講生がそれらを読んだことを前提として行う。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験	60 %	各回で取り上げた内容について理解し、自分の言葉で説明することができるか、また、それらの内容を実際に活用できるかを評価する。
日常点	40 %	ミニ課題およびコミュニケーション・ペーパーをとおして、理解が深まっているか確認する。

受講生および研究に関するアドバイス / Advice regarding students and/or research

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
社会福祉実践の新潮流	平山尚・平山佳須美・黒木保博・宮岡京子 / ミネルヴァ書房 / 4-623-02899-2 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Internet Websites related to the Course

- 日本社会福祉士会 <http://www.jacsw.or.jp/>
 国際ソーシャルワーカー連盟 <http://www1.ifsw.org/>

福祉発達史 S

12972

担当者名 / Instructor 太谷 亜由美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Description

本講義ではヨーロッパの福祉の発達を中心に、福祉の発達を考察する。福祉の実践として一番歴史の古いものは貧困の救済である。そこで、いかにして一般の人々の貧困の救済が国の責任となっていったかを辿るが、その過程は決して簡単な道程ではなかった。時代の変化と共に変貌してきた福祉は、現在ではなくてはならないものであり、当たり前のものでされているが、一方では経済の停滞と共に後退を余儀なくされている。福祉の歴史を単なる「過去の出来事」として捉えるのではなく、人々の大きな要求のうねりが生み出してきた足跡として辿りたい。そしてまた、福祉は現在の我々の要求によりその形をいかににも変えるものであるということを感じ取って頂きたい。同時に人が社会で生きていく上で、社会保障や社会福祉がどれ程重要なものであるか実践して頂きたい。講義では福祉の発達について、国・経済という大きな存在と個人とのかかわりについて注目して頂きたい。

到達目標 / Focus and Goal

社会福祉に対する国の役割を捉え、また社会福祉は個人にとって社会で生活する上で不可欠なものであることを認識できるように、講義を通じて考える力を持つ事

履修しておくことが望まれる科目 / Courses which students are recommended to enrolle in, but not required to

ヨーロッパ史を履修していれば理解に役立ちます。

授業スケジュール / Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	総括的導入 福祉はどのように行われていたのか	個人の福祉
第2回	ヨーロッパにおける中世期までの貧困の救済	地縁・血縁・相互扶助
第3回	イギリス救貧法の生成過程1	チューダー朝
第4回	イギリス救貧法の生成過程2	救貧法
第5回	イギリス救貧法の成立 1	エリザベス救貧法
第6回	スチュワート王朝期における救貧法の変容	中央集権
第7回	市民革命期・産業革命期の福祉 - 貧民の有利な雇用論	資本主義
第8回	市民革命期・産業革命期の福祉 - 救貧法の人道化	ギルバード・スピーナムランド体制
第9回	自由放任主義と新救貧法の成立	安価な政府
第10回	新救貧法の意義	資本家
第11回	19世紀末の民間における福祉の実践	慈善と相互扶助
第12回	19世紀末から20世紀初頭の福祉の展開 1	科学的貧困調査
第13回	19世紀末から20世紀初頭の福祉の展開 2	リベラル・レフォーム
第14回	大恐慌期から1940年代の「福祉国家」の生成 1	国民保険法
第15回	大恐慌期から1940年代の「福祉国家」の生成 2	ベヴァリッジ報告

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Out of class assignment

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Course Style

講義の際、配布するレジュメを必ず入手し、それによって講義の流れをつかむこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験	100 %	設問に対して、必要な用語を用い適切な論述ができているかどうかを評価する。

受講生および研究に関するアドバイス / Advice regarding students and/or research

単なる歴史の学習ではなく、一般の市民がどのようにして福祉を手に入れていったのか、人々の生活の改善がどのようにして行われたかについて学んで頂きたい。

教科書 / Textbooks

教科書は使用いたしません。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「社会福祉の歴史」	高島進氏 / ミネルヴァ書房 / /
その他の参考書はおってお知らせします。	

参考になる WWW ページ / Internet Websites related to the Course

A Web of English History <http://www.historyhome.co.uk/>

その他 / Others

私語等は講義の妨げになりますので厳禁です。

臨床精神医学 S § 精神医学II S

15124

担当者名 / Instructor 石坂 好樹

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Description

前期の精神医学 Sにつづいて、精神医学の主要な疾患について、その症状が経過および原因さらには治療法をできるだけわかりやすく論じる。

到達目標 / Focus and Goal

この精神疾患の症状の成り立ち、症状の把握、治療法概略などに関する知識の習得、

履修しておくことが望まれる科目 / Courses which students are recommended to enroll in, but not required to

前期の精神医学 Sおよび精神リハビリテーション学も受講することが望ましい。

授業スケジュール / Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
9月25日	器質性精神障害論	
10月2日	器質性精神障害論	
10月9日	統合失調症論	
10月16日	統合失調症論	
10月23日	統合失調症論	
11月6日	気分障害論	
11月13日	気分障害論	
11月20日	不安性障害論	
11月27日	不安性障害論	
12月4日	解離性障害論	
12月11日	児童期の精神障害	
12月18日	児童期の精神障害	
1月16日	青年期の精神障害	
1月22日	精神医学治療総論	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Out of class assignment**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Course Style****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験	100 %	定期試験の成績により、判定を行う

受講生および研究に関するアドバイス / Advice regarding students and/or research**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
精神医学	精神保健福祉士養成セミナー / へるす出版 / /

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Internet Websites related to the Course****その他 / Others**